

2018/7/21(土)13:50-16:50 (受付開始 13:00)

漢方処方を選択方法

講座情報

漢方薬の添付文書は、時に病名が羅列してあり、医師が、どの病名を目標に処方したのかを類推するのが難しく、時には情報が少なすぎるため、誤った服薬指導をしてしまうことがある。このように、漢方の処方選択は添付文書の適応疾患だけを参照しても理解が困難なことが多く、そこで漢方の服薬指導をあきらめてしまう薬剤師も多い。

医師が漢方薬を選択する際には、西洋病名も参照しながら、漢方独自の診断体系である証を考慮しながら処方選択を行う。また、薬が持つ性質(薬能)を考慮しながら処方構築をする。

講座では漢方の処方選択における医師の思考過程を説明しながら、漢方薬の服薬指導のコツについて解説したい。

講演者情報

渡辺 賢治

慶應義塾大学環境情報学部 教授・医学部兼任教授

プロフィール

1984年慶應義塾大学医学部卒、医師・医学博士

慶應義塾大学医学部内科、東海大学医学部免疫学教室、米国スタンフォード大学遺伝学教室、北里研究所(現:北里大学)東洋医学総合研究所、慶應義塾大学医学部漢方医学センター准教授などを経て現在に至る。

日本内科学会総合内科専門医、日本東洋医学会専門医・WHO 国際疾病分類改訂委員、漢方産業化推進研究会理事長、神奈川県顧問・奈良県顧問等を兼ねる。

主要著書

漢方医学 講談社メチエ 講談社 2013

マトリックスでわかる! 漢方薬使い分けの極意 南江堂 2013

日本人が知らない漢方の力 祥伝社 2012

参考サイト

漢方デスク <https://kampodesk.com/>

未病チェックシート <http://me-byo.com/>